

株式会社^{ベアーズ}Bear's 熊谷 麻衣さん

2023年10月に㈱Bear'sを立ち上げ、翌年1月に「訪問看護ステーション ゆう&あい」を開所した。看護師、訪問看護師として積み上げてきたキャリアを活かし自らも現場に立ち、ハードな仕事を楽しく前向きにこなしながら会社を切り盛りしている。「第11回志太ビジネスプラングランプリ」で見事グランプリを獲得している。



働く人にとっても、利用する人にとってもやさしい “訪問看護”という仕事をたくさんの人に知ってもらいたい

起業までの道のり

初めは看護師として病院に7～8年勤務しました。結婚・出産で病院の訪問看護ステーションに転職して10年ほど勤めました。起業のきっかけとしては、この仕事を普及させたい、もっと知ってもらいたいという思いが一番ありました。またライフスタイルも多様な時代において、スタッフにも働きやすい環境を提供したいという思いがありました。

「訪問介護」はみなさん何となくイメージできると思いますが、「訪問看護」となるとどういうことをするのか知らない人が多いです。「訪問看護」とは、分かりやすく言うと自宅で医療行為をするということです。うちの事業所は高齢者だけでなく、小児科と精神科の訪問もしています。後期高齢者が今後すごく増えると言われますが、その他にも医療的ケアが必要な子どもや精神疾患の人は多く、本当に看護を必要としています。専門的な分野なので、スタッフも全員研修や実務経験を経て取り組んでいます。

もう一つの働きやすさという点では、子育て中でも両立できるよう1時間からの有休利用や直行直帰を取り入れ、時間的制約が少なくなる工夫をしています。タブレットを



使って場所を選ばず会議ができたり、スマホで出退勤の管理をしたりもしています。いろいろなライフスタイルがあっても、働ける環境づくりを目指しています。

起業で大変だったこと

事業を始めた時は3人でしたが、今は12人になりました。「訪問看護」をよく知らなかったけれど副業として働いてみて、ここでならやっていけると正式に勤めたいと言ってくれる人もいました。働きやすさを追求するとシフト管理が大変ですが、利用者さんの協力で臨機応変に時間を変更させてもらうこともあります。そのためには普段から利用者さんと話しやすい関係づくりをしておくことが大切だと思います。一番は利用者さんに迷惑を掛けないことなので、それぞれ決まった時間に、決まった内容の仕事をしっかりやってきてくれていると信頼して、スタッフに任せています。

起業の際は苦労があったのかも知れませんが、やらなきゃいけないという思いの方が強かったです。事業計画書などの資料作成は夫が得意なので手伝ってくれました。母には経理のこと、家事や子どものお迎えなどもほぼ任せているので、安心して仕事ができます。帰りが遅くなる時には大きい子が小さい子をお風呂に入れてくれたりして、本当に家族に助けられています。会社設立の手続きに関しては税理士に依頼しましたが、事業所の許可を受けるために行政に提出する膨大な申請書類の作成は自分で行ったのでとても大変でした。

いま市内の訪問看護ステーションは病院併設も含め十数か所で、私のように個人でやっているところもあります。病院併設でも個人でも、利用者さんに対するサービス自体はあまり変わりません。利用者さんのかかりつけ医やケアマネージャーと連携しながらサービス提供をしています。直接大きい総合病院から打診されることもあります。開所前にたくさん営業に行き、その後クチコミで情報が広がっ

たおかげで今の関係が築けています。なんといっても知ってもらわないことには事業が始められないので、最初の頃はみんなで志太地域から静岡市まで営業に行き、約1ヵ月で病院や施設を回り300人ほどに会いました。営業活動は大変でしたが、それさえも楽しんでやりました。

起業してよかったこと

利用者さんから「もっと早く使えばよかった」という声を多くいただくので、これからもそう思ってもらえるような事業の提供をしていきたいです。私を中心に全てスタッフと相談しながら物事を決めているので、みんなで作り上げていくところが楽しいです。職場の人間関係のよさを知って一緒に働きたいと言ってくれる人もいます。昼間はみんな訪問に出っていますが、事務所に帰ってくると座る場所もない状態なので、どこか広くていい場所がないかとは思いますが、でも車が絶対必要なので駐車場の確保が課題です。経費もかかることなので、まだ1年目ということもありもう少し力をつけて地盤を固めていくことが優先ですね。

「訪問看護」という事業を知って利用すれば、介護をしている人の負担の軽減にもつながります。確かに費用は他サービスと比較しても少し高いのですが、「このお金には代えられない」と直接言葉に表してくれる人も増えてきています。介護中はどうしても人付き合いが減り、なかなか情報が入らなくなっています。知って、使ってみて楽になったという人を増やしていきたいです。

これからの夢や目標

実際に看護師であっても「訪問看護」の内容を知らない人は多いです。行政では介護福祉課の管轄になり、訪問介護の中の事業の一環で「訪問看護」があるという位置づけです。難病・小児・精神の人などは医療保険の対象になりますが、そうすると管轄はまた違ってきます。今よりもっと高齢者が増えてくるので、今後どうなるのかと心配します。先日も救急搬送された人が、この状態ならば家で看てくださいと言われました。おそらくそういう人が相当増えるので、そうすると「訪問看護」の出番です。しかし働き手がいらないのも現実で、訪問看護師は看護師全体の4%しかい

ません。病院で看護するのとは違って訪問先には様々な環境があり、誰でもできるわけではない大変さがあります。でもそこを乗り越えてみんなで楽しくやっています。社会全体の課題なので、行政と相談しながらよりよいサービスを提供していきたいです。

また医療的ケア児の訪問も増えています。お子さんの場合は家で看たいという家族の希望もありますが、家族だけではやはり限界が来てしまいます。利用者さんの数がさらに増えれば今の人員ではやり切れませんが、人の命に関わることなので、情報がしっかり伝わり確実なサービス提供が行える範囲でやっていきます。「訪問看護」の仕事をもっと知ってもらい、看ているご家族の負担が少しでも軽減できるよう私たちががんばります。

エフドアをこれから利用する人に

ネットで「藤枝市 創業」と検索してエフドアを知りました。もっと早く知っていれば、会社を作る前に相談して補助金にもチャレンジできました。これからはどこかに所属するのではなく、やりたいことをやっていきたいという人が増えてくる時代です。「訪問看護」は法人でないとできない仕事なので、私はまず会社を作ろうということを考えましたが、初めての起業では本当に何から手を付けていいのか分からないでしょう。こういう窓口があるというのは、すごくいいことだと思います。



株式会社^{ベアーズ}Bear's / 訪問看護ステーション ゆう&あい

住所 藤枝市田沼3丁目21番15号 ドリームスイン202

TEL 054-660-5515

HP <https://www.you-i-bears.com/>

Instagram <https://www.instagram.com/you.i.bears>



HP



Instagram